

令和7年6月26日
国立大学法人筑波大学

筑波大学附属病院産婦人科医師による「ふらっと、さんふじんか」 つくば市のユースクリニック「青のカフェ」とも連携して地域医療に貢献

1. 「ふらっと、さんふじんか」とは

筑波大学附属病院の産婦人科医師が中心となり、10～20代の若者を対象としたユースクリニック「ふらっと、さんふじんか」の構想を進めています。これは、若年層が性に関する正しい知識を持ち、安心して相談できる環境を整備するための取り組みです。内容は、月経や避妊、子宮頸がん・性感染症予防などに関する正確な情報提供、産婦人科医による医療相談、つくば市や近隣の医療機関を紹介する地域連携などで、若年層への早期介入につなげていくことを目指しています。

2. 開催の背景と成果

つくば市は若年層が多く暮らす地域でありながら、性や健康に関する相談窓口が限られており、特に中高生にとっては婦人科へのアクセスに心理的ハードルがあるのが現状です。一方、SNSやネットを通じて性に関する情報や出会いの機会に容易にアクセスできますが、誤情報の氾濫や性感染症の拡大、望まない妊娠、心身の問題の深刻化等の性被害に巻き込まれるリスクも潜んでおり、正しい知識を提供する場の必要性が高まっています。このような現状を受け、2023年2024年の筑波大学の学園祭において「ふらっと、さんふじんか」を開催したところ、2023年には596名、2024年には1,090名が来場。相談内容は月経、避妊、性に関する悩みなど多岐にわたり、「日常的にこうした場所があればいい」「安心して話せた」という声が寄せられました。これらのニーズに応え、地域での継続的な対面支援拠点を目指して試験版「ふらっと、さんふじんか」を初めて筑波大学附属病院で実施しました。

3. つくば市「青のカフェ」との連携

試験版「ふらっと、さんふじんか」開催にあたって、つくば市役所で五十嵐市長との意見交換会を行いました。五十嵐市長からは、「若者の生活動線に合わせたアクセスのしやすさ」や「相談しやすい環境づくり」について助言をいただきました。またユースクリニック先進国の北欧視察を踏まえ、日本に適したユースクリニックの形についても意見が交わされました。今後はつくば市の「青のカフェ」及び、近隣のクリニックの皆様ともさらに連携を強化して「ふらっと、さんふじんか」を定期的に実施し、継続的な若者支援に取り組んでいくこととなりました。

開催当日には、五十嵐市長にご来場いただき、展示や気軽に相談できる雰囲気などを視察いただきました。五十嵐市長からは「相談相手が近くに居ることばかりではないテーマなので、このようにフラットで優しい雰囲気の中相談でき、正しい知識を得られる場所はとても貴重」とのコメントをいただき、今後の地域連携への期待が寄せられました。

◆五十嵐つくば市長との意見交換会

日時:2025年6月17日(火)16時00分～16時45分

場所:つくば市役所5階 庁議室

参加者:大学執行役員(地域医療担当)原晃(司会進行)

医学医療系 西田恵子講師、天神林友梨講師(附属病院産科・婦人科医師)

◆「ふらっと、さんふじんか」

日時:2025年6月21日(土)13時00分～16時00分

場所:筑波大学附属病院 桐の葉モール クオール薬局

担当:医学医療系 西田恵子講師、天神林友梨講師(附属病院産科・婦人科医師)

*意見交換会や試験版「ふらっと、さんふじんか」の様子は、附属病院公式YouTubeチャンネルでもご紹介します。

【参考①】「ふらっと、さんふじんか」5つの柱

つくば駅周辺商業施設におけるつくば市の既存施設の一部やイベントなど、若者が集まる場所や機会を活用させて頂き、次の5つの柱で運営したいと考えています。

- ①【正しい知識啓発のための展示】生理、子宮頸がん、性感染症等の正しい知識。
- ②【来場者への意識調査・アンケート】若者が知りたいことを調査して還元。
- ③【産婦人科医による医療相談】無料、対面、匿名で気軽に相談。
- ④【近隣産婦人科マップ】実際に取材し、女性医師の存在、WEB予約等紹介。
- ⑤【パンフレット配布・製品紹介】情報提供、産婦人科の診療機器等の紹介。

【参考②】つくば市五十嵐市長との意見交換会

- ・つくば市の「青のカフェ」及び、筑波大学附属病院産婦人科医による「ふらっと、さんふじんか」の取り組みや目指すところ、今後の展開。
- ・五十嵐市長と産婦人科医達のユースクリニック先進国における北欧視察経験から、日本と北欧の性教育や産婦人科へのアクセスの違い、心理的ハードル、日本型ユースクリニックの在り方や課題、今後の取り組みに活かしたいこと。
 - *日本型ユースクリニックは「処方を行う場」より、「性に関する正しい知識の啓発」「悩みの相談ができる安心な場所」が望ましいと考えられること。
 - *立地は、学校帰りに立ち寄りやすい駅周辺やショッピングモールなど、学生の生活動線上に設けることが理想。→つくば駅周辺で実施の方向。
 - *「ふらっと、さんふじんか」と「青のカフェ」の共同開催など、有機的に連携することでより幅広い層への支援が可能。

写真① 五十嵐つくば市長との意見交換会(6月17日(火)実施)



(右から順に)五十嵐市長、西田医師、天神林医師、原大学執行役員



「ふらっと、さんふじんか」展示物の説明



意見交換会の様子



附属病院公式YouTubeによる撮影

写真② 試験版「ふらっと、さんふじんか」(6月21日(土)開催)



利用者に説明する西田医師(右から2人目)



利用者の話を聞く
五十嵐市長(左)と天神林医師(中央)

【本件に関する問い合わせ先】
筑波大学附属病院産科・婦人科
「ふらっと、さんふじんか」担当:西田、天神林
メール: flat.sanfujinka.tsukuba@gmail.com
TEL:029-853-3073